

主題：信徒

メッセージ 11

彼らの象徴——尊いことに用いられる栄光へのあわれみの器、麦粒、ぶどうの木の枝

聖書：ローマ 9:21, 23. 使徒 9:15. II コリント 4:7. ヨハネ 12:24. 15:1, 4-5, 7

I. キリストにある信徒は、尊いことに用いられる栄光へのあわれみの器です。わたしたちはあわれみ、誉れ、栄光としてのキリストの容器です。——ローマ 9: 21, 23：

A. 人の創造における神の定められた御旨とは、人をご自身の器、すなわち、土の器に造り、命であるキリストを入れ、キリストで満たされて、建造されて神の大きな団体の器であるキリストのからだとなり、神を表現するということです——創 2:7. 使徒 9:15. ローマ 9:21, 23. II コリント 4:7. II テモテ 2:20-21。

B. パウロの十四書簡はすべて二つの言葉、「開いた器」で要約することができます：

1. 神がわたしたちの中にご自身を分与することができる程度は、わたしたちが開いている程度にかかっています。神はただわたしたちが彼を愛し、自分自身を彼に開き続けることだけを欲しています——列王下 4:1-7. マタイ 5:3. ヨハネ 1:16. イザヤ 57:15. 66:1-2。

2. 墮落は自己満足から始まります。進歩は飢え乾きから始まります——申 4:25. ルカ 1:53. ピリピ 1:25. 啓 3:16-18。

C. わたしたちは、神のあわれみとしてのキリストを入れるあわれみの器に創造されました——ローマ 9:11-13, 16, 20-21, 23. 哀 3:21-23. ルカ 1:78-79：

1. 神のあわれみは最も遠くまで届く神の属性であり、わたしたちをみじめな地位から、彼の愛と恵みを受けるにふさわしい状態に救い出します。——エペソ 2:1-4. ヘブル 4:16。

2. 神のあわれみのゆえに、他の人たちが応答しなかった時、わたしたちは福音に応答しました。他の人たちが受けるのを拒んだ時、わたしたちは命であるキリストについての言葉を受けました。他の人たちがこの道を取ることから後ずさりした時、わたしたちは主の回復の道を取りました。——詩歌 234 番、3 節。

3. あわれみは、わたしたちのみじめな状態によって動機づけられる神の外側の行ないを指しています。慈しみは、神の愛の本質から起こる彼の内側の愛情を指しています——ローマ 9:15. マタイ 9:36。

4. わたしたちは、慈しみのある方としてのキリストと接触しなければなりません。それは、わたしたちが他の人たちにあわれみ深くあり、他の人たちを裁かないことにおいて王国の実際の中を生きるためです——哀 3:21-23. マタイ 5:7, 7:1。

D. わたしたちは、尊い神としてのキリストを入れる尊い器に創造されました。尊い器は予防剤を与える者であり、召会の衰退に抵抗して他の人たちに予防剤を与えます。——II テモテ 2:20-22. 士 9:9. サムエル上 2:30：

1. 予防剤を与える者は教える者、キリスト・イエスの良い奉仕者であって、命の言葉で養われ、召会生活のために、日常生活において自分の霊を活用してキリスト

を生きる者です。――Ⅱテモテ 2:2. 1:13-14. Ⅰテモテ 4:6-7. 6:20。

2. 予防剤を与える者は兵士であり、異見を唱える者の異なる教えに敵対して戦い、使徒の務めにしたがって神のエコノミーを遂行し、神の最後の敵である死に対して戦い、命で満ち満ちて、命の中で支配します――Ⅱテモテ 2:3-4. Ⅰテモテ 1:18. ローマ 8:6, 11. 5:17。
3. 予防剤を与える者は競技をする者であり、正常な召会生活を生き、避難所としてのキリストの中へと逃れ、純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義と信仰と愛と平和としてのキリストを追い求めます――Ⅱテモテ 2:5. ヘブル 6:18-20。
4. 予防剤を与える者は農夫であり、すべてに適合する命によって神と共に働いて、人々の中へと命の種をまき、命の霊をもって、また神の健康な言葉によって彼らに水を注ぎます――6節. Ⅰコリ 3:6, 9. Ⅱコリント 6:1前半. ルカ 8:11. ヨハネ 7:38. 6:63. Ⅱコリ 3:6。
5. 予防剤を与える者は働き人であり、真理の言を真っすぐに裁断し、神の言葉をそのさまざまな部分において正しく、また真っすぐに、ゆがめることなく開きます（大工仕事のように）。真理の言は正しく開かれる必要があります。それは暗やみの人々が照らされ、毒に対して予防剤を与え、死を飲み尽くし、そらされた信徒を正しい路線へと連れ戻すためです――Ⅱテモテ 2:15. 参照、使徒 26:18. 詩 119:130, 133。

E. わたしたちは栄光の器であり、栄光の神としてのキリストを内容とします：

1. 栄光とは、表され、大きく表現された神ご自身です――エレミヤ 2:11. 使徒 7:2. エペソ 1:17. Ⅰコリ 2:8. Ⅰペテロ 4:14. コロサイ 2:9。
2. わたしたちはこの宝、土の器であるわたしたちの中に住んでいる栄光の神としてのキリストを持っています（Ⅱコリ 4:7）。わたしたちに内住している「この宝」は、「イエス・キリストの御顔」（6節）、キリストの臨在、「キリストのパーソン」（2:10）。
3. わたしたちが自分自身の心を主に向けるとき、わたしたちはわたしたちの霊の中のキリストの臨在としての霊なる主を見つめ、「栄光から栄光へ、主と同じかたちへと造り変えられていきますが、それはまさに霊なる主からです」――3: 16-18。
4. 主の栄光を見つめることは、主ご自身を見ることです。主の栄光を映すことは、他の人がわたしたちを通して彼を見ることができるようになることです――イザヤ 60:1, 5。

Ⅱ. 信徒は麦粒です――ヨハネ 12: 24：

- A. 多くの麦粒は、キリストの死と復活を通して生み出され、一つパン、すなわち、キリストのからだを形成します。麦粒は砕かれ、油とミングリングされ、かまどで焼かれて、共にブレンディングされて一つの塊となります。それは穀物のささげ物によって表徴されます――Ⅰコリント 10:17. レビ 2:4-5。
- B. 主は一粒の麦として地に落ちて、死を通してご自身の魂の命を失われ、復活の中でご自身の永遠の命の火を「多くの麦」に対して解き放ちました。わたしたちは多くの麦粒として、死を通して自分の魂の命を失わなければなりません。それは、わた

したちが復活の中で永遠の命の火を享受し、他の人たちに対して解き放つためです——ヨハネ 12:24-26. ルカ 12:49-50. I コリント 15:31, 36 II コリント 4:12。

- C. 麦粒が地に落ちて死ぬとき、わたしたちの外なる人は砕かれ、消耗されます。それは、わたしたちの内なる人が日ごとに新しくされることができるとためです—— 4:16, 10-11. テトス 3:5. エペソ 4:23. 5:26。
- D. キリストのからだの建造のために霊的であるクリスチャンは、毎日三つのものを「読」まなければなりません。彼は聖書を読む必要があります。彼は自分の内なる感覚を読む必要があります。彼は自分の環境と、状況、すなわち、自分の周りの人々、事、問題を読む必要があります——ローマ 8:6、参照、箴 16:9。
- E. わたしたちは、他の人たちが変わるようにと祈り、望むかもしれませんが、しかし、わたしたちがこのように祈れば祈るほど、何も変わらないことがますますはっきりしてきます。これは、神が創造された環境であって、わたしたちを神の御子のかたちと同形化させ、神の恵みと力を現します——ローマ 8:28-29. 参照、6:3-4. 列王上 7:17, 20-22。
- F. わたしたちは、活動するその霊と協力して、神がわたしたちのために案配された環境を受け入れるべきです——ピリピ 4:12. エペソ 3:1. 4:1. 6:20. I コリント 7:24。
- G. わたしたちは神につぶやくかもしれませんが、しかし、わたしたちのつぶやきは、神にとって最上の祈り、最も喜ばしい祈りであるかもしれません。わたしたちがつぶやいている間、神は喜んでいます。なぜなら彼は、すべてを共に働かせて益とならせ、わたしたちを彼の長子のかたちに同形化しているからです——参照、詩第 102 篇のタイトル。

III. キリストにある信徒は、ぶどうの木の枝です——ヨハネ 15:1, 4-5 :

- A. ぶどうの木は、キリストであり、信徒たちである枝を伴っていますが、それは神のエコノミーにおける三一の神の有機体であり、彼の豊富をもって成長し、彼の神聖な命を表現します—— 1-5 節。
- B. わたしたちはぶどうの木であるキリストから離れては、無であり、何も持っておらず、何もすることができません。こういうわけで、わたしたちは彼の中に住み、彼の中にとどまり、彼の中に居続ける必要があります。そして、自分であるものや自分のできることによって生きるのではなく、キリストご自身である不朽の命によって生きる必要があります—— 14:6 前半. II コリント 5:4。
- C. キリストの中に住むとは、彼の愛の中に住むことです。それは、わたしたちが彼を愛し、互いに愛し合って、実を結ぶことにおいて神聖な命を表現するためです——ヨハネ 15:9-10, 16-17 :
 - 1. 「わたしは新しい戒めをあなたがたに与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。あなたがたが互いに愛し合っているなら、これによって、すべての人は、あなたがたがわたしの弟子であることを知るようになる」。——ヨハネ 13:34-35、参照、I ヨハネ 4:18-19。
 - 2. わたしたちが主を愛するなら、彼で満たされます。そして、わたしたちの内側を満たしているものは何であれわたしたちから出てきます。主を徹底的に愛するこ

とは、わたしたちを資格づけ、成就し、装備して主を語り出します—ヨハネ
20:15-17

- E. 主がわたしたちの中に住まれるために、わたしたちは彼の言葉をわたしたちの内に
住ませなければなりません。わたしたちが命のために彼に来ることによって、書
かれた言葉の中に住むとき、彼の即時的な言葉は霊と命としてわたしたちの中に住
みます—ヨハネ 15:7. 5:39-40. 8:31. 6:63。
- F. 真のぶどうの木であるキリストの枝として、わたしたちはあらゆる点においてキリ
ストを生き、キリストを成長させ、キリストを表し、キリストを増殖させる必要が
あります。これが、「主のものにふさわしく歩いて、すべての事で主を喜ばせ、あ
らゆる善いわざで実を結び、神を知る全き知識によって成長」するという事です
—コロサイ 1:10.
- G. 実を結ぶことは、内なる命の豊富の流れ出たものです。内なる命から満ちあふれた
ものから、他の人に届く流れがあり、彼らの命に浸透します。それは、彼らが御父
の栄光のための残る実となるためです。—ヨハネ 15:16